

◆国際文化学研究科「あらためて震災と文化・社会を考える」

公開講座の開設主旨・目的等

私たちの既成の価値観、世界観を根本から揺るがした東日本大震災から二年がたちました。阪神・淡路で被災した神戸との関連でもいくつものシンポジウムや講演会が行われています。しかし、あらためて問いたいと考えてこの公開講座の企画は生まれました。3. 11. は、震災は、私たちにとって何だったのか、何を突きつけてきたのだろうか、と。直接被害を被らなかった私たちは、あるいは直接被災した人びとでさえ、ともすると頭のなかで復興計画や未来予想図を描くことに一生懸命になってしまっていて大切なことに目がゆきとどいていないことがありはしないか、そういった問題意識で今回の公開講座は組織されたのです。国際文化学研究科には、一見そぐわないテーマであると思われるかもしれませんが、あの震災をきっかけに、二年後の今、考えること、考えていることをそれぞれの分野から持ちよりました。いろいろな専門から演者が立つことになりましたが、このことは、震災が分野を問わず与えた影響の大きさ、であるといえるかもしれません。

講義日程・題目及び講師

回	講義日	時間	講義題目	講師
1	10月12日 (土)	13:20~14:50	「多文化共生」・「きずな」再考	岡田 浩樹 教授
2		15:10~16:40	災害とインターネット	大月 一弘 教授
3	10月19日 (土)	13:20~14:50	インドネシアの防災文化	貞好 康志 教授
4		15:10~16:40	「社会的なもの」の行方	市田 良彦 教授
5	月 日 ( )			
6				
7	月 日 ( )			
8				

連絡先

〒657-8501  
 神戸市灘区鶴甲1-2-1  
 神戸大学大学院国際文化学研究科総務係  
 TEL:078-803-7515  
 FAX:078-803-7509